

2022(令和4)年度事業報告

I. 法人運営事業

1. 監査の実施(令和4年5月19日)

(監査事項)

- ・令和3年度 事業報告(案)について
- ・令和3年度 決算報告書(案)について
- ・会計帳簿、残高証明書のチェック

(その他)

- ・第36回理事会議案説明

2. 理事会の開催

第36回理事会(令和4年5月30日)

(議案)

- ・令和3年度 事業報告(案)について
- ・公益事業基金の積み増しについて
- ・令和3年度 決算報告書(案)について
- ・理事の選任について
- ・第11回定時評議員会の招集について

(報告事項)

- ・来年度50周年を迎えるにあたっての考え方

第37回理事会(令和4年6月22日)

- ・理事長、常務理事の選定(書面表決)

第38回理事会(令和4年11月2日)

(報告事項)

- ・令和4年上期業務執行報告及び事業報告について
- ・「空飛ぶ車いす」活動について
- ・基本財産の運用について

第39回理事会(令和5年3月23日)

(議案)

- ・社会福祉関係者に係る研修・研究事業に対する助成の決定について
- ・社会福祉に関する諸活動に対する支援及び助成の決定について
- ・助成事業の決定について
- ・基本財産の処分及び取得について
- ・2023年度事業計画(案)について
- ・2023年度予算(案)について

- ・役員等のための保険契約の締結について
(報告事項)
- ・令和4年度業務執行報告及び事業報告

3. 評議員会の開催

第11回定時評議員会(令和4年6月16日)
(議案)

- ・令和3年度 事業報告について
- ・令和3年度 決算報告書(案)について
- ・理事の選任について

II. 社会福祉助成・支援事業

1. 社会福祉関係者に係る研修・研究事業に対する助成

—令和5年度 公募助成事業—

(1)『社会福祉助成事業実施要綱』の告知

- ① 日社済ホームページ更新(9月1日)
- ② Welfare69号(9/1号)の作成・配布(9月)
- ③ 全国社会福祉協議会のホームページ(9月)
- ④ 東京都・大阪府・岩手県社会福祉協議会のホームページ(9～10月)
- ⑤ 広報誌への掲載等(東京都、大阪府&京都市社協ほか)(9月～10月)
- ⑥ 福祉新聞(10月25日及び11月1日号)への広告掲載

(上記①～⑥の方法で告知を実施)

(2)応募状況

- ① 応募期間:令和4年11月1日～12月15日
- ② 応募状況
 - ・助成応募件数:66件
 - ・助成応募金額:2,459万円

(3)選考過程

①予備選考会

- ・期日 令和5年2月1日(霞山会館)
- ・出席者 厚生労働省:鈴木久也・障害児支援専門官、道念由紀・社会福祉専門官、日社済事務局3名

②選考委員会

- ・期日 令和5年2月22日(霞山会館)
- ・出席者 選考委員5名:炭谷委員長、河委員、諏訪委員、加納委員、大江委員(書面)
寺田理事長、森井常務、近石事務局長、加藤部長、竹内職員、

柳瀬職員(日社済より理事長以下6名)

③選考結果

- ・期日 令和5年3月23日(霞山会館)
第39回理事会(合同役員会)にて
助成件数54件、助成金額1,953万円に決定(一覧表は後述の通り)

2. 社会福祉に関する諸活動に対する支援及び助成

(1) アジア福祉助成

全国社会福祉協議会と連携して、全社協福祉研修の修了生が帰国後実施する福祉事業へ助成し、日本とアジア諸国の福祉交流の醸成と福祉向上を図る。令和4年度助成実施は以下5団体。

① バハイ・トゥルヤン財団(フィリピン)	30万円
② バーン・サバイ・ヘルスセンター(タイ)	30万円
③ 若者のためのルアム・ミット財団(タイ)	30万円
④ シッタータ児童発達財団(スリランカ)	30万円
⑤ 光の地域福祉財団(インドネシア)	30万円
合計	150万円

(2) 東北復興車いす支援

震災発生(平成23年(2011年)から令和元年(2019年)まで毎年ゴールデンウィーク期間に9年間継続実施していた三陸復興車いす支援活動(現地整備活動:『空飛ぶ車いす、東北に行く!!』=車いすの回収、修理、寄贈活動)は令和4年度は第12回目になる予定であったが、令和2年度(第10回目)、令和3年度(第11回目)に続き、残念ながらコロナウイルス問題により活動を休止とした。

3. アジア等の障害者への車いす修繕・寄贈等に対する支援・助成

(1) 車いす修理ボランティア活動への支援

① 車いすタイヤの購入支援

ノーパンクタイヤの一括購入

(台湾:赤陽工業有限公司、日本:曾我商会)

② 国内修理講習会の開催支援

修理技術の向上と修理活動の促進のための支援

◇岩手県 車いすフレンズ整備技術講習会

コロナウイルス感染防止対策により今年(令和4年)は合同での開催はなし。

県内複数会場を設定し、車いす整備技術講習会を実施。

・期日 令和4年6月30日 県南会場

令和4年7月 6日 沿岸会場 宮古商工高校を個別訪問

令和4年7月 7日 県央会場 (コロナ感染により中止)

・参加者 県社協の担当者、東日本福祉機器、盛岡工業高校、一関工業高校、水沢工業高校、宮古商工高校

・活動 車いす修理、整備(タイヤ・ベアリング交換、錆落とし他)

◇秋田県「あきた県車いすリサイクル連絡会」

・期 日 令和4年8月18日

・参加者 湯沢翔北高校、大曲工業高校、男鹿工業高校、新潟医療福祉大学、空飛ぶ車いすを応援する会、人間総合科学大学、秋田県社協職員、日社済

・活動

「各校の取り組み状況発表」 参加各校より

「車いす修理のポイントについて」 新潟医療福祉大学、空飛ぶ車いすを応援する会

車いす修理、整備(タイヤ・ベアリング交換、錆落とし他)

◇大学OBによる合同修理大会

・期 日 令和4年5月7日、令和4年7月23日、令和4年10月29日
令和5年2月18日(於:茨城県下妻市)

・参加者 神奈川工科大学、新潟医療福祉大学OB等

・活動 車いす点検・修理・整備

◇空飛ぶ車いす活動の広報支援

・期 日 令和4年11月26日(於:新潟市産業振興センター)

・参加者 空飛ぶ車いすを応援する会、新潟医療福祉大学(FW)、日社済

・活動 新潟県社会福祉協議会主催の福祉・介護・健康フェア会場に「空飛ぶ車いす」のブースを設けて、車いすの点検・修理の実演とスリランカ、タイでの車いす寄贈活動の動画を上映。

◇修理高校交流支援

「空飛ぶ車いすを応援する会」による修理高校訪問・指導

・期 日 令和4年12月17日(於:大森学園高校)

・参加者 大森学園高校、蒲田・東京中央ロータリークラブ・中央大学生、空飛ぶ車いすを応援する会等

・活動 車いすの点検及び修理活動の実技指導、スリランカ贈呈用車いすの梱包他

③ 海外修理講習会の開催支援

◇スリランカ 記念式典と現地指導

- ・期 日 令和4年10月1日～2日
- ・参加者 空飛ぶ車いすを応援する会幹事2名、東京都立足立工業
高校教諭1名
- ・活 動 スリランカへの車いす贈呈3000台突破記念式典参加及び
車いすの点検・修理・整備活動の実施と指導

◇タイ 修理大会

- ・期 日 令和4年12月4日～11日
- ・参加者 栃木工業高校14名及び日社済2名
- ・活 動 マカラック病院(バンコク)での車いすの点検・修理・整備活
動の実施と指導

◇ベトナム HIS スタディーツアー『空飛ぶ車いすを世界に届けよう』

- ・期 日 令和5年3月25日～29日
- ・参加者 小学校長、高校生、大学生、一般社会人及び日社済
(総勢12名)
- ・活 動 HIS とのコラボ 福祉施設への車いす寄贈ボランティア
知的障害者施設1か所、孤児院2か所訪問

(2) 車いす輸送支援

① 車いすの海外輸送実績

令和4年4月～令和5年3月輸送実績 : 322台

- ・旅行者等のボランティア(各国) : 26台
- ・JICA 経由(パラオ) : 1台
- ・コンテナ船輸送(タイ・スリランカ) : 295台

6月:タイ100台 9月:スリランカ110台 11月:タイ85台

② 車いすの国内配送・海外輸送支援

ア、国内配送費の支援(修理学校⇄空港間など)

国内配送の協力依頼 ⇒ 日通航空へ特別料金の適用

イ、海外輸送費の支援

コンテナ船輸送費用負担

(3) 書損じはがき収集の促進

- ① 都道府県・指定都市・市区町村社協への広報
(ウェルフェア69号に掲載)
- ② 本会ホームページによる広報展開

4. 広報事業

(1) ホームページによる情報公開、更新

- ① 令和4年度 公募助成団体一覧掲載(4月)
- ② 令和3年度 決算公告用資料の公開(6月)

③ 令和5年度 社会福祉助成事業・実施要綱の公開(9月)

④ 令和4年度 助成事業成果レポートの公開(10月)

(2) 広報誌の発行

ウェルフェア69号(日社済ニュース 令和4年9月1日号)

① 「令和4年度社会福祉助成金交付団体」「アジア福祉助成団体」決定

② 「令和5年度社会福祉助成事業実施要綱」

③ くつきり！福祉の未来～日社済助成事業成果報告～

・社会福祉法人 明光会

・NPO 法人 浜松 NPO ネットワークセンター

・ボランティアむつの会

・茨城県自立援助ホーム協議会

④ 書き損じはがき収集ご協力をお願い

⑤ 福祉の共済コーナー

ジブラルタ生命からのお知らせ

*ウェルフェア69号(日社済ニュース)の配布先

ア 県・指定都市及び市区町村社会福祉協議会(約1,800か所・各1冊)

イ 助成団体等の関係者他(約25か所・各1冊)

ウ ジブラルタ生命(各営業組織へ・合計500冊)

Ⅲ. 社会福祉関係者の共済に係る事業

1. 団体保険料収納事業

ジブラルタ生命保険株式会社と提携して、社会福祉法人などの福祉関係法人、社会福祉施設及び関係団体に勤務する役職員、構成員及びその家族を対象に『団体扱個人保険』を取扱い、日社済『福祉の共済事業』として位置づけ、保険料収納事業を実施。

2. 会員施設サービス事業

ライフサポートクラブ

会員施設の役職員とその家族に福利厚生サービスを会員価格で利用できる制度を提供。

Ⅳ. 附属明細について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。